

科目名：成人看護学概論 単位数：1		担当者： ① 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）：30（15）	時期：1年後期
科目目標： ・成人期の身体的・社会的・心理的特徴を学び、成人期に陥りやすい健康障害についてライフスタイルの側面から捉え、健康の維持増進の為の看護の役割・技術について理解することができる。 ・特徴的な成人看護の方法について理解することができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲・事前課題
1	成人の特徴	成人の特徴について理解することができる。 （１）成人とは （２）成人期の区分 （３）人生脚本	講義 GW ①	教科書① 第１章、２章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
2	成人の生活	成人の生活について理解することができる。 （１）成人を取り巻く環境 （２）成人の生活の場 （３）成人各期の生活の特徴	講義 ①	教科書① 第４章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
3	生活習慣に関連する健康障害	生活習慣に関連する健康障害について理解することができる。 （１）健康づくり対策 （２）生活習慣病対策 （３）がん対策、予防医学	講義 ①	教科書① 第７章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
4	職業に関連する健康障害	職業に関連する健康障害について理解することができる。 （１）労働者の健康障害 （２）代表的な職業性疾病	講義 ①	教科書① 第８章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
5 6	職場における健康①	産業保健総合支援センターの役割について理解することができる。 （１）産業保健センターの役割と実際 （三菱自動車工場株式会社 水島製作所）	講義 見学 ①	教科書① 第８章 〈事前課題〉 ・４コマ目の復習
7 8	職場における健康②	企業における労働者の健康支援について理解することができる。 （１）産業医の役割と実際 （２）産業保健師（看護師）の役割と実際	講義 ①	教科書① 第８章 ・４コマ目の復習
9 10	職場における健康③	職場における健康に対する取り組みについて理解することができる。 （１）健康経営の概要 （２）職場における安全衛生管理体制 （３）労働衛生対策の基本５つ	講義 ①	教科書① 第８章 ・４コマ目の復習
11 12 13	成人期にある対象へのアプローチに必要な有用概念	健康問題に対する有用概念について学び、成人期にある対象へのアプローチについて理解することができる。	講義 GW ①	教科書① 第９章、第１３章 第１４章、第１５章

53 回生 シラバス

14		(1) 病みの軌跡 (軌跡枠組み、軌跡モデル) (2) セルフケア (セルフケア理論) (3) ストレス (ストレス理論、コーピング理論) (4) 危機 (危機モデル、危機介入) (5) 適応 (6) 自己効力 (自己概念、自尊感情、自己効力理論) (7) ヘルスプロモーション		第 16 章、第 17 章 第 18 章、第 19 章 〈事前課題〉 ・自分が担当になった以 外の概念に関しての自 己学習
15	終講試験		試験 ①	
【教科書 参考書】 ① ナーシンググラフィカ 成人看護学①成人看護学概論 (メディカ出版)			評価方法：筆記試験 (65 点) 企業見学レポート (10 点) グループワーク (25 点)	
			評価基準：60 点以上で合格とする。	

担当者①実務経験あり

科目名：成人看護Ⅰ (循環、内部環境調節機能障害看護) 単位数：1		担当者： ① 専任教員(臨床実務経験有)	総時間数(回数)： 30(15)	時期：1年後期
科目目標： ・循環および内部環境調節機能障害に対する検査・治療・処置を受ける対象の看護について理解することができる。 ・循環機能障害の各経過(急性期・回復期・慢性期・終末期)における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。 ・内部環境調節機能障害の各経過(急性期・回復期・慢性期・終末期)における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲・事前課題
1	循環機能の復習	既習の循環器の構造と機能について想起することができる。 (1) 循環器の構造と機能	講義 ①	教科書① 第2章 (事前課題) ・上記の範囲を読む ・循環器の解剖生理の復習
2 3	虚血性心疾患の看護	狭心症・心筋梗塞・高血圧症患者の看護について理解することができる。 (1) 虚血性心疾患の原因 (2) 狭心症 (3) 心筋梗塞 (4) 高血圧症 (5) 循環器疾患で用いる薬物療法時の注意点	講義 ①	教科書① 第5章、 第6章 (事前課題) ・上記の範囲を読む ・狭心症、心筋梗塞、 高血圧症の病態生理の復習
4	狭心症患者の看護	狭心症患者のある患者の日常生活指導の実際について理解する。	GW ①	教科書① 第5章、 第6章
5 6	心不全の看護 不整脈の心電図所見と特徴	左心不全・右心不全の看護について理解することができる。 (1) 降圧・利尿薬、抗不整脈薬の内服指導 (2) 慢性心不全患者への生活指導 不整脈の心電図所見と特徴を理解することができる。 (1) 不整脈の特徴と対応 (2) ホルター心電図検査の目的と日常生活の指導	講義 ①	教科書① 第5章、 第6章 はじめての心電図 (事前課題) ・上記の範囲を読む ・心不全、不整脈の病態生理の復習
7 8	腎機能障害患者の看護	腎機能障害患者の看護について理解することができる (1) 腎臓の構造と機能 (2) 腎機能検査時の看護 ・経静脈性腎盂造影 ・腎生検 (3) 腎機能障害の治療と看護 ・透析治療 ・腎移植	講義 ①	教科書② 第2章、 第3章、 第4章、 第6章 (事前課題) ・上記の範囲を読む ・腎臓の解剖生理の復習

9	開心術の看護	心臓弁膜症の看護について理解することができる。 (1) 心臓弁膜症の症状と治療 ・僧帽弁狭窄症 ・大静脈弁狭窄症 (2) 開心術を受ける患者の看護 ①術前の看護 ②術後の看護 (3) 冠動脈バイパス術 (CABG)	講義 ①	教科書① 第5章、 第6章 教科書③ 第2章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・弁膜症の病態生理 の復習
10	甲状腺機能障害患者の看護	甲状腺機能障害患者の看護について理解することができる。 (1) 甲状腺の構造と機能 (2) 甲状腺機能障害の治療と看護 ・バセドウ病 ・甲状腺機能低下症 ・甲状腺摘出術	講義 ①	教科書③ 第5章 教科書④ 第2章、 第5章、 第6章 周手術期看護 (学研) p 203～213 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・甲状腺の解剖生理 の復習 ・バセドウ病、甲状腺 機能低下症、甲状腺 摘出術の病態生理 の復習
11	ペースメーカー装着時の看護	ペースメーカーを装着する患者の看護について理解することができる。 (1) ペースメーカー植え込み術 (クリニカルパス) (2) ペースメーカー装着後の日常生活の指導	講義 ①	教科書① 第4章、 第5章、 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・刺激伝導系の復習
12	循環機能障害に対する検査・治療を受ける対象の看護	循環器機能障害に対する検査・治療を受ける対象の看護について理解することができる。 (1) 動脈血ガス分析 (2) 心電図 (十二誘導心電図) (3) 胸部X-P (心胸比)・心エコー (4) CVP 測定 (5) 心臓血管造影検査時の援助	講義 ①	教科書① 第4章、 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
13 14	排泄機能障害患者の看護	排泄機能障害患者の看護について理解することができる。 (1) 尿流動態検査・膀胱鏡検査 (2) 間欠的自己導尿 (3) 腹圧性尿失禁 (4) 前立腺切除術 (5) 膀胱腫瘍 (尿路変向術)	講義 ①	教科書② 第4章、 第5章、 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・前立腺肥大症、膀胱 腫瘍の病態生理の 復習
15	終講試験		試験 ①	

	【教科書 参考書】 ① （系看）成人【3】循環器 （医学書院：eテキスト） ② （系看）成人【8】腎・泌尿器 （医学書院：eテキスト） ③ （系看）別巻 臨床外科各論 （医学書院：eテキスト） ④ （系看）成人【6】内分泌・代謝 （医学書院：eテキスト） ・はじめての心電図 （メディカ出版） ・よくわかる周手術期看護 （学研） ・看護過程に沿った対症看護 （学研） ・疾患別看護過程 （医学書院：eテキスト） ・NANDA－I 看護診断 （医学書院）	評価方法：筆記試験（100点） 評価基準： 60点以上で合格とする。
--	--	--

担当者①実務経験あり

科目名：成人看護Ⅱ (呼吸、生体防御機能障害看護) 単位数：1		担当者： ① 専任教員 (臨床実務経験有) ② がん性疼痛看護認定看護師	総時間数 (回数) ：30 (15)	時期：2 年前期
科目目標： ・呼吸および生体防御機能障害に対する検査・治療・処置を受ける対象の看護について理解することができる。 ・呼吸機能障害の各経過（急性期・回復期・慢性期・終末期）における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。 ・生体防御機能障害の各経過（急性期・回復期・慢性期・終末期）における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲・事前課題
1 2 3	生体防御機能障害患者 の看護 血液疾患の患者の看護	血液疾患患者の看護について理解することができる。 (1) 血液の整理と造血のしくみ (2) 検査 ・骨髄穿刺 ・生検 ・末梢血検査 ・出血傾向の検査 (3) 血液疾患のある患者の看護 ・白血病 ・悪性リンパ腫 (4) 輸血療法の看護	講義 ①	教科書① 第3章 教科書③ 第2章 第3章 第4章 第5章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・血液の解剖生理の復習 ・白血病、悪性リンパ腫の病態生理の復習
4	肺がんの看護	肺がんの看護について理解することができる。 (1) 肺切除術 ・胸腔鏡下手術時の看護（クリニカルパス使用） (2) 胸腔ドレーン ・胸腔ドレーン挿入時・挿入中の看護	講義 ①	教科書② 第4章 第5章 第6章 教科書⑦ 第1章 病気がみえる④ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・肺がんの病態生理の復習
5 6 7	アレルギー・膠原病・ 感染症患者の看護	アレルギー疾患患者の看護について理解することができる。 (1) 免疫のしくみとアレルギー (2) 血液検査、スキントテスト (3) 薬物療法（ステロイド、抗アレルギー薬）、減感作療法 膠原病患者の看護について理解することができる。 (1) 自己免疫疾患とその機序 (2) 薬物療法（ステロイド、抗アレルギー薬）、免疫抑制剤 (3) 全身性エリテマトーテスのある患者の看護 感染症患者の看護について理解することができる。 (1) HIV/AIDSのある患者の看護	講義 ①	教科書① 第9章 教科書④ アレルギー 第2章、 第3章 膠原病 第2章、 第5章、 第6章 感染症 第5章、 第6章 〈事前学習〉 ・上記の範囲を読む ・アレルギーと免疫応答の仕組みの復習

				・全身エリテマトーテス、HIV 感染症の病態生理の復習
8	慢性閉塞性肺疾患の看護	慢性閉塞性肺疾患の看護について理解することができる。 (1) 理学療法、体位ドレナージ (2) 換気障害・ガス交換障害のアセスメント (3) 酸素療法・非侵襲的陽圧換気法 (NPPV)	講義 ②	教科書② 第4章 第5章 第6章 病気がみえる④ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・慢性閉塞性肺疾患の病態生理の復習
9 10	呼吸器の構造と機能 症状とその看護	既習の呼吸器の構造と機能について想起することができる。 (1) 呼吸器の構造と機能 (2) 呼吸器の症状と看護 ・酸素化障害・換気障害・呼吸運動障害	講義 ①	教科書① 第3章 教科書② 第2章 第3章 第6章 病気がみえる④ 〈事前学習〉 ・上記の範囲を読む ・呼吸器の解剖生理の復習
11	肺炎の看護	肺炎の看護について理解することができる。 (1) 肺炎のある患者の看護 ・気道の清浄化、感染予防、生活指導	講義 ①	教科書② 第5章 第6章 病気がみえる④ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・肺炎の病態生理の復習
12	検査を受ける患者の看護	検査を受ける患者の看護について理解することができる。 (1) 気管支鏡検査、胸腔穿刺、胸腔ドレナージ、肺生検、呼吸機能検査	講義 ①	教科書② 第4章、 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
13	気管支喘息の看護	気管支喘息の看護について理解することができる。 (1) 薬物療法 (抗アレルギー薬・気管支拡張薬・副腎皮質ステロイド薬) (2) 喘息発作	講義 ①	教科書② 第5章 第6章 病気がみえる④ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・気管支喘息の病態生理の復習
14	治療処置を受ける患者の看護	侵襲的陽圧換気を受ける患者の看護について理解することができる。	講義 ①	教科書② 第4章 第6章

15	試験	(1) 人工呼吸器を装着する患者の看護 (2) 気管切開を受ける患者の看護	試験 ①	教科書⑤ 付章 病気がみえる④ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
【教科書 参考書】 ① (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院：e テキスト) ② (系看) 成看【2】呼吸器 (医学書院：e テキスト) ③ (系看) 成看【4】血液・造血器 (医学書院：e テキスト) ④ (系看) 成看【11】アレルギー・膠原病・感染症 (医学書院：e テキスト) ⑤ (系看) 基看【4】臨床看護総論 (医学書院：e テキスト) ⑥ (系看) 別巻 がん看護学 (医学書院：e テキスト) ⑦ (系看) 別巻 臨床外科看護各論 (医学書院：e テキスト) ・はじめてのドレーン管理 (メディカ出版) ・病気がみえる④ 呼吸器 (メディックメディカ) ・看護過程に沿った対症看護 (学研) ・疾患別看護過程 (医学書院：e ナーストレーナー) ・NANDA－I 看護診断 (医学書院)				評価方法：筆記試験 山本 (90 点) 中川 (10 点)
				評価基準 60 点以上で合格とする。

担当者①②実務経験あり

52 回生 シラバス

科目名：成人看護Ⅲ (消化、吸収、代謝機能障害看護)		担当者： ①非常勤講師（外部講師） ②糖尿病看護認定看護師 ③専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数） ：45（23）	時期：2年前期
単位数：1				
科目目標： ・消化吸収および栄養代謝機能障害に対する検査・治療・処置を受ける対象の看護について理解することができる。 ・消化吸収機能障害の各経過（急性期・回復期・慢性期・終末期）における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。 ・栄養代謝機能障害の各経過（急性期・回復期・慢性期・終末期）における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲・事前課題
1 2	消化器の構造と機能 消化吸収機能障害・ 栄養代謝障害	既習の消化器の構造と機能について想起し理解を深めることができる。 （１）食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・直腸・肛門 （２）肝臓・胆道系・膵臓 消化吸収機能障害および栄養代謝機能障害における症状と看護について理解することができる。 （１）消化器疾患における症状・徴候	講義 ①	教科書① 第２章 教科書② 第２章 第３章 第６章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・消化器の解剖生理の復習
3	消化吸収機能の検査	消化吸収機能に関する検査とその看護について理解することができる。 （１）超音波検査 （２）造影検査 （３）内視鏡検査（ERCP、CF、GF）	講義 ①	教科書② 第４章 第６章 教科書⑥ 第１１章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
4 5	食道がんの看護	食道がんの看護について理解することができる。 （１）術前の看護 ・栄養状態（ALB/TP、BMI、標準体重、Hb）の把握 ・呼吸器合併症の予防 （２）術後合併症の早期発見と予防	講義 ①	教科書② 第５章 第６章 教科書⑧ 第３章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・食道がんの病態生理の復習
6	胃がんの看護	胃がんの看護について理解することができる。 （１）術式と特徴 （２）術後合併症の早期発見と予防	講義 ①	教科書② 第５章 第６章 第７章 教科書⑧ 第３章 周手術期看護（学研） 〈事前課題〉

				・上記の範囲を読む ・胃がんの病態生理の復習
7	胃・十二指腸疾患 患者の看護	胃・十二指腸疾患患者の看護について理解することができる。 (1) 胃・十二指腸潰瘍の原因 (2) 胃・十二指腸潰瘍の生活指導 (食生活・ストレスの軽減)	講義 ①	教科書② 第5章 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・消化性潰瘍の病態生理の復習
8	膵炎の看護	膵炎の看護について理解することができる。 (1) 膵炎の特徴と症状 (急性と慢性) (2) 膵炎患者の食事指導・生活指導	講義 ①	教科書② 第5章 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・膵炎の病態生理の復習
9 10	膵がんの看護	膵がんの看護について理解することができる。 (1) 術式と特徴 (2) 術後合併症の早期発見と予防	講義 ①	教科書② 第5章 第6章 教科書⑧ 第3章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・膵がんの病態生理の復習
11	胆石症の看護	胆石症の看護について理解することができる。 (1) 胆石症の特徴と症状 (2) 胆石発作時の看護 (3) 腹腔鏡下胆嚢摘出術を受ける患者の看護 (4) 胆汁ドレナージを受ける患者の看護	講義 ①	教科書② 第5章 第6章 教科書⑥ 第3章 周手術期看護 (学研) 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・胆石症の病態生理の復習
12 13	舌がん、喉頭がん、 咽頭がん患者の看護	舌がん、喉頭がん、咽頭がんの看護について理解することができる。 (1) 舌がん患者の看護 (2) 咽頭・喉頭摘出術の特徴と看護	講義 ①	教科書④ 第5章 第6章 第7章 教科書⑤ 第5章 第6章

14	肝臓がんの看護	肝細胞がんの看護について理解することができる (1) 内科的治療と看護 (2) 肝切除術を受ける患者の看護	講義 ①	教科書⑧ 第5章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
15	糖尿病の看護	糖尿病の看護について理解することができる。 (1) 糖代謝障害の程度と症状 ・糖代謝の検査 ・糖尿病の特徴と高血糖 ・低血糖症状の観察 (2) 糖尿病の看護 ・自己血糖測定 ・インスリン自己注射の指導 ・経口糖尿病薬の服薬指導 ・食事指導 ・合併症予防と生活指導 ・運動療法の指導 ・患者指導資料の作成	講義 GW ②	教科書③ 第4章 第5章 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・糖尿病の病態生理の復習
16	糖尿病の看護	糖尿病の看護について理解することができる。 (1) 糖代謝障害の程度と症状 ・糖代謝の検査 ・糖尿病の特徴 ・高血糖および低血糖症状の観察 (2) 糖尿病の看護 ・自己血糖測定 ・インスリン自己注射の指導 ・経口糖尿病薬の服薬指導 ・食事指導 ・合併症予防と生活指導 ・運動療法の指導 ・患者指導資料の作成	講義 GW ②	教科書③ 第5章 第6章 〈事前課題〉 ・前回(15回)の講義の復習
17	栄養代謝機能の検査	簡易血糖測定技術について理解することができる。 (1) 簡易血糖測定	演習 ③	〈事前確認〉 ・簡易血糖測定の手順確認
18 19	大腸がんの看護	大腸がんの看護について理解することができる。 (1) 術式と特徴 (2) 術前・術後の看護	講義 ①	教科書② 第5章 第6章 教科書⑧ 第3章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む

20	肝機能障害の看護	肝硬変の看護について理解することができる。	講義	・大腸がんの病態生理 の復習
21		(1) 症状（倦怠感、浮腫、腹水、搔痒感）の緩和 (2) 食事指導 ウイルス性肝炎の看護について理解することができる。 (1) インターフェロン療法の看護 肝生検を受ける患者の看護について理解することができる。 (1) 肝生検の看護	①	教科書② 第3章 第4章 第5章 第6章 第7章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・肝硬変、肝炎の病態生理の復習 ・肝炎の看護についてまとめる
22	栄養代謝機能の検査	簡易血糖測定 of 技術を身に付けることができる。	評価	<事前課題> 技術評価計画に沿って演習し、手技を身につけておく
23	終講試験		試験	①
教科書 参考書			評価方法：筆記試験	
①（系看）人体【1】解剖生理学			山本 （80 点）	
②（系看）成看【5】消化器			渡邊 （20 点）	
③（系看）成看【6】内分泌・代謝				
④（系看）成看【14】耳鼻咽喉				
⑤（系看）成看【15】歯・口腔				
⑥（系看）基看【3】基礎看護技術Ⅱ				
⑦（系看）別巻 臨床外科看護総論				
⑧（系看）別巻 臨床外科看護各論				
・よくわかる周手術期看護				
・疾患別看護過程				
・看護過程に沿った対症看護				
・はじめてのドレーン管理				
			評価基準	
			60 点以上で合格とする。	

科目名：成人看護Ⅳ (脳神経、感覚器機能障害看護)		担当者： ①専任教員（臨床実務経験有） ②脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	総時間数（回数） ： 30（15）	時期：2 年前期
単位数：1				
科目目標： ・脳神経および感覚器機能障害に対する検査・治療・処置を受ける対象の看護について理解することができる。 ・脳神経機能障害の各経過（急性期・回復期・慢性期・終末期）における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。 ・感覚器機能障害の各経過（急性期・回復期・慢性期・終末期）における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法	学習範囲・事前課題
1	意識障害のある患者の看護	意識障害のある患者の看護について理解することができる。 (1) 脳の構造の理解 (2) 意識障害の判定 (3) 意識障害のある患者の看護	講義 ①	教科書① 第 8 章 教科書② 第 2 章、 第 3 章、 第 6 章 病気がみえる⑦ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・脳の解剖生理の復習
2	高次脳機能障害のある患者の看護	高次脳機能障害のある患者の看護について理解することができる。 (1) 高次脳機能とは (2) 失語・失認・失行・注意障害・記憶障害に対する看護	講義 ①	教科書② 第 3 章、 第 6 章 病気がみえる⑦ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
3	運動障害のある患者の看護	運動障害のある患者の看護について理解することができる。 (1) 運動機能障害の種類 (2) 運動麻痺による二次的障害 (3) 運動機能障害のある患者の看護	講義 ①	教科書② 第 3 章、 第 6 章 病気がみえる⑦ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
4	頭蓋内圧亢進症状のある患者の看護	頭蓋内圧亢進症状のある患者の看護について理解することができる。 (1) 頭蓋内圧亢進症状 (2) 頭蓋内圧亢進症状のある患者の看護 (3) 脳ヘルニア	講義 ①	教科書② 第 3 章、 第 6 章 病気がみえる⑦ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
5	検査を受ける患者の看護	検査を受ける患者の看護について理解することができる。 (1) 髄液検査（腰椎穿刺） (2) 脳血管造影検査	講義 ①	教科書② 第 4 章 教科書⑦ 第 12 章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
6	治療・処置を受ける患者の看護	治療・処置を受ける患者の看護について理解することができる。 (1) 開頭術 (脳室ドレナージ、V-P シャント、外減圧術、内減圧術)	講義 ①	教科書② 第 4 章、 第 6 章 教科書⑨ 第 4 章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む

7	視覚機能障害を持つ 患者の看護	視覚機能障害を持つ患者の看護について理解することができる。 (1) 眼の構造と機能 (2) 緑内障、糖尿病網膜症、流行性角結膜炎 (3) 点眼法、洗眼法	講義 ①	教科書① 第8章 教科書④ 第2章 第4章 第5章 第6章 第7章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・眼の解剖生理の復習 ・緑内障、糖尿病網膜 症、流行性角結膜炎 の病態生理の復習
8 9	脳梗塞の看護	脳梗塞の急性期・回復期看護について理解することができる。 (1) 脳梗塞の病態・症状 (2) 脳梗塞の治療・リハビリテーション (3) 急性期、回復期の看護	講義 ②	教科書② 第5章 第6章 病気がみえる⑦ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・脳梗塞の病態生理の 復習
10	クモ膜下出血の看護	クモ膜下出血の看護について理解することができる。 (1) クモ膜下出血の病態・症状 (2) 手術前の管理と看護 (3) 手術後の管理と看護	講義 ②	教科書② 第5章 第6章 教科書⑨ 第4章 病気がみえる⑦ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・クモ膜下出血の病態 生理の復習
11	頭部外傷の看護 小脳疾患の看護	頭部外傷の看護について理解することができる。 (1) 症状、治療、看護 小脳出血・小脳梗塞の看護について理解することができる。 (1) 症状、治療、看護	講義 ②	教科書② 第5章 第6章 病気がみえる⑦ 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・頭蓋骨骨折、硬膜下 血腫、脳挫傷、小脳 出血、小脳梗塞の病 態生理の復習
12	聴覚機能障害を持つ 患者の看護	聴覚機能障害を持つ患者の看護について理解することが できる。 (1) 耳の構造と機能 (2) 老人性難聴 (3) 突発性難聴 (4) メニエール病	講義 ①	教科書① 第8章 教科書④ 第2章 第5章 第6章 第7章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む

13	臭覚・触覚機能障害を持つ患者の看護	臭覚・触覚機能障害を持つ患者の看護について理解することができる。 (1) 鼻の構造と機能 (2) 鼻出血・アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎 (3) 皮膚の構造と機能 (4) 熱傷	講義 ①	・耳の解剖生理の復習 ・老人性難聴、突発性難聴、メニエール病の病態生理の復習 教科書① 第8章 第9章 教科書③ 第2章 第5章 第6章 第7章 教科書⑤ 第2章 第4章 第5章 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・鼻と皮膚の解剖生理の復習 ・鼻出血、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、熱傷の病態生理の復習
14	感覚機能の障害を持つ患者の看護	感覚機能の障害を持つ患者の看護について理解することができる。 (1) 視覚障害者の誘導 (2) 嗅覚障害、味覚障害	講義 ①	教科書④ 第6章 教科書⑤ 第3章 第4章 第5章 教科書⑥ 第3章 第4章 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
15	終講試験		試験 ①	
【教科書 参考書】 ① (系看) 人体【1】解剖生理学 (医学書院：eテキスト) ② (系看) 成看【7】脳神経 (医学書院：eテキスト) ③ (系看) 成看【12】皮膚 (医学書院：eテキスト) ④ (系看) 成看【13】眼 (医学書院：eテキスト) ⑤ (系看) 成看【14】耳鼻咽喉 (医学書院：eテキスト) ⑥ (系看) 成看【15】歯・口腔 (医学書院：eテキスト) ⑦ (系看) 基看【3】基礎看護技術Ⅱ (医学書院：eテキスト) ⑧ (系看) 別巻 臨床外科看護総論 (医学書院：eテキスト) ⑨ (系看) 別巻 臨床外科看護各論 (医学書院：eテキスト)			評価方法：筆記試験 河下 (55点) 田渕 (30点) 河下 (15点)	
			評価基準 60点以上で合格とする。	

52 回生 シラバス

・病気が見える⑦ 脳神経 ・はじめてのドレーン管理 ・看護過程に沿った対症看護 ・疾患別看護過程 ・NANDA－I 看護診断	(メディックメディカ) (メディカ出版) (学研) (医学書院：e ナーストレーナー) (医学書院)	
--	--	--

担当者①②③実務経験あり

科目名：成人看護Ⅴ (運動機能障害看護) 単位数：1		担当者： ① 非常勤講師（外部講師）	総時間数（回数）：15（8）	時期：2年後期
科目目標： ・運動機能障害に対する検査・治療・処置を受ける対象の看護について理解することができる。 ・運動機能障害の各経過（急性期・回復期・慢性期・終末期）における対象および家族の身体的・社会的・心理的・霊的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲・事前課題
1	運動機能障害の看護 運動機能障害に関する検査・治療の看護	運動機能障害のある患者の特徴を理解することができる。 （1）運動機能障害のある患者の特徴 運動機能障害に関する検査と治療の看護について理解することができる。 （1）上肢・下肢長測定 （2）関節可動域（脊椎・下肢・上肢他）＝ROM （3）徒手筋力テスト（MMT） （4）下肢伸展挙上テスト（SLRT） （5）大腿神経伸展テスト（FNST）	講義 演習 ①	教科書① 第1章、 第4章、 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・関節可動域訓練の技術 手順の確認
2	変形性関節症の看護	変形性股関節症・変形性膝関節症の看護について理解することができる。 （1）変形性股関節症 （2）変形性膝関節症	講義 ①	教科書① 第5章、 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・股関節、膝関節の解剖生理の復習 ・変形性股関節症の病態生理の復習
3	上腕骨顆上骨折・大腿骨頸部骨折の看護 四肢切断術の看護	上腕骨顆上骨折・大腿骨頸部骨折の看護について理解することができる。 （1）上腕骨顆上骨折 （2）大腿骨頸部骨折 四肢切断術を受ける患者の看護について理解することができる。 （1）術前・術中・術後の看護	講義 ①	教科書① 第5章、 第6章、 第7章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・上腕骨折、大腿骨頸部骨折の病態生理の復習
4	椎間板ヘルニアの看護 (腰椎椎間板ヘルニア)	椎間板ヘルニアの看護について理解することができる。 （1）脊椎造影検査（ミエログラフィー） （2）椎間板ヘルニア （3）腰椎椎間板ヘルニアの看護 （4）骨盤牽引、グリソン牽引	講義 ①	教科書① 第4章、 第5章、 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・椎間板の解剖生理の復習 ・腰椎椎間板ヘルニアの病態生理の復習

5	脊髄損傷の看護	脊髄損傷の看護について理解することができる。 (1) 急性期の看護 (2) 亜急性期から慢性期にかけての看護	講義 ①	教科書① 第5章、 第6章、 第7章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・脊髄神経の解剖生理の 復習 ・脊髄損傷の病態生理の 復習
6	関節リウマチの看護	関節リウマチの看護について理解することができる。 (1) 関節リウマチ患者の看護	講義 ①	教科書① 第5章、 第6章 教科書② 膠原病 第5章 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む ・関節リウマチの病態生 理の復習
7	身体各部の相互位置関係 治療を受ける患者の看護	良肢位・身体各部の相互位置関係について理解することができる。 (1) 良肢位の保持 (2) 就床患者の体位と身体各部の相互位置関係 運動機能障害の各治療を受ける患者の看護について理解 することができる。 (1) ギプス固定 (2) 副子固定 (3) キルシュナー鋼線牽引	講義 ①	教科書① 第4章、 第6章 〈事前課題〉 ・上記の範囲を読む
8	終講試験		試験 ①	

【教科書 参考書】 ① (系看) 成人【10】運動器 (医学書院：eテキスト) ② (系看) 成人【11】アレルギー 膠原病 感染症 (医学書院：eテキスト) ・病気がみえる 11 運動器 (メディックメディア) ・NANDA－I 看護診断 (医学書院) ・疾患別看護過程 (医学書院：eナーストレーナー) . ・看護過程に沿った対象看護 (学研)	評価方法：筆記試験 (100 点)
	評価基準 60 点以上で合格とする。

担当者①実務経験あり

52 回生 シラバス

科目名：成人看護Ⅵ（性・生殖機能障害看護） 単位数：1		担当者： 非常勤講師（外部講師）	総時間数(回数)： 15（8）	時期： 2 年後期
科目目標： ・性・生殖機能障害に対する検査・治療・処置を受ける対象の看護について理解することができる。 ・性・生殖機能障害の対象および家族の身体的・精神的・社会的側面を捉え、必要な看護について理解することができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	外来・病棟における看護 診療介助における看護	・外来・病棟における看護について理解する。 ・診療介助における看護について理解する。 ・外診・内診時の看護・検査、処置時の看護	講義 ①	教科書① 第 6 章・ 第 4 章
2	症状とその病態に対する看護	症状とその病態に対する看護について理解する。 ・性器出血、帯下・外陰部掻痒感、疼痛、リンパ浮腫、自律神経症状・不定愁訴）のある患者の看護	講 義 ①	教科書① 第 3 章・ 第 6 章
3	臓器別疾患・機能的疾患患者の看護	臓器別疾患・機能的疾患患者の看護について理解する。 ・子宮疾患、乳房疾患、月経異常・月経随伴症状、高齢女性に起こりやすい女性生殖器疾患患者の看護	講 義 ①	教科書① 第 6 章
4	手術を受ける子宮がん、乳がん患者の看護	手術を受ける患者の看護について理解する。 ・外性器・内性器の手術前から退院までの看護 ・手術前から退院までの看護	講 義 ①	教科書① 第 6 章・ 第 4 章 ワーク課題
5				
6	化学・放射線・ホルモン療法を受ける患者の看護	化学・放射線・ホルモン療法を受け患者の看護について理解する。 ・化学・放射線・ホルモン療法前から終了後の看護	講 義 ①	教科書① 第 6 章・ 第 4.5 章 ワーク課題
7				
8	終講試験		試験 ①	
教科書 参考書 ①（系看）成人【9】女性生殖器（医学書院：e テキスト） ②疾患別看護過程＋病態関連図（医学書院：e ナーストレーナー）			評価方法 筆記試験 100 点	
			評価基準 60 点以上で合格とする。	

担当者①実務経験あり